

# 報恩寺だより

平成15年4月17日  
綾瀬市寺尾南 2-10-1  
おたすけ観音 報恩寺  
電話 0467-78-7160  
FAX0467-79-1567

## 大般若祈祷会勤修について

5月17日は、おたすけ観音の縁日です。皆様の家内安全、身体健全、諸災消除、諸縁吉祥を祈り、大般若祈祷会を次により行いますので、お誘い合わせのうえ御参詣くださるよう、ご案内申し上げます。

### 記

期日 5月17日(土)  
日程 午後1時 御詠歌  
午後2時 大般若祈祷会  
午後3時 小斎

祈祷料(2000円)は当日御志納お願い致します。

## 特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

笠間博幸 様	橋川 節 様	高嶋勝美 様	佐須田茂 様
山下広 様	吉井政一 様	橋川和夫 様	笠間孝男 様
橋川勝義 様	橋川久一 様	重森信一郎 様	橋川泰一 様
近藤守夫 様	奥津祐之 様	笠間英博 様	橋川幸雄 様
梅田セキ 様	早川義行 様		

**白山登山**平成14年9月9日10日11日と2泊3日で石川県の白山登山に行ってきました。白山は永平寺の修行時代、今から18年ほど前に拝登した事のあるとても思い出深い山でしたのでとても楽しみにしていました。

当時は永平寺から支給されたワラジ2足、竹の皮で包んだ大きなおにぎり2個、そして編み笠に托鉢衣といういでたちで、さらに、1年目は法要準備係りだったので、法要用具を木製の背負子で担いでの登山でした。その時は20代前半ということもあり、また、本山から放れて外に出られる事がたのしく、張り切ってしまい2700メートルを超える本格的な登山だという感覚はさほどなく、軽々と登ってしまった記憶があります。周りの登山者やガイドさんの格好をみて、なんて重装備なのだろう大変だなあ、なんて思ったものですが、今思えばもうあの当時の装備ではのぼれないのではないのでしょうか。今の服装は軽く快適で動きやすく、食料もコンパクトで効果的、翌日の筋肉痛まで補ってしまうなんて本当にすごいです。

しかし、わらじもすごいです、基本的に2足持っていきますが、1足は予備のため腰に下げおきますがほとんど1足で用が足ります、たしか、わらじを出発前に山門で山積されているものの中から、編みのしっかりしたもので補強の為に使われている布の柄がきれいなものを選びます、このときに編みのあまいものを選んでしまうと途中で分解してしまい、はだいで道中に行くことになるので、これにはかなり真剣になりました。さすがに今の靴が軽くなったとはいえ、わらじの軽さにはかなわないでしょう、わらじは特に履き方にちょっとしたコツはありますがすばらしい履物です、登山が終わり永平寺に帰ってきて破棄するときに、いいわらじに出会えたときにはまたいいものに当たりますようにと名残を惜しむほどでした、そのころわらじを寄進して



くださる方が何人か居られたのですが、名人と言われる人がいて、その方を講師に招いてわらじの編み方教室を開いたのですが、私が編むと、わらじの形になっても実用するには至らなかった記憶があります。その名人のわらじはかなりのこだわりがあり補強部分の布地の配色にも職人技が生きており、名人のわらじを探し当てるため、見た目の美しさもわらじ選びの大切な要因でした。

どんな装備であれ、白山攀登が出来たということはとても有難いことです。特に山頂で、まだ薄暗い雲海から御来光が姿を現しあたり一面を、徐々に光で満たしていく壮大で印象的な光景は実に大自然の偉大な力、美しさを感じるすばらしい体験でした。(報恩寺副住職加藤良隆)



## 梅花流発祥の地を訪ねて

平成15年4月16日、報恩寺梅花講の研修旅行として、曹洞宗梅花流詠讃歌の発祥の地、静岡県・洞慶院へお参りしてまいりました。

朝7時、報恩寺を大型バスで出発し、途中ぼたん苑の散策、お昼は精進料理をいただき一路、洞慶院へ、15時30分到着、バスを降り、左に梅園を見ながら、緑に囲まれた、杉木立の山門を入ると、奥床しく静かな佇まいの中にお寺がございました。

さっそく本堂の中で御詠歌をあげさせていただき、方丈様のありがたい、お説教と、お庭でのいろいろ楽しいお話もございました。心とむあたたかいお話を身体に受け、綾瀬に無事19時40分に到着し、一日有意義な研修旅行でした。

今年は御詠歌が出来て51年目、昨年は50周年記念式典が武道館にて盛大に行われ私達講員も参加し、又、この年は道元禅師さまの750回大恩忌の年、この記念すべき年に梅花講員が多数入講いたしました、これからが楽しみでございます。(講員代表・笠間綾子)



梅花流発祥の碑を囲んで記念撮影



洞慶院にてご住職様と記念撮影